

絵具の展色材

顔料と糊

今回は絵具の中身について考えてみます。簡単に言えば、色のついた粉を糊でキャンバスなどに定着させる、というのが絵具の原理です。色のついた粉には「顔料」と「染料」の2種類があり、水や油に溶けにくいものを顔料、溶けるものを染料と言います。ほとんどの絵具に使われるのは顔料で、染料はもっぱらドローイング・インクに使われます。つまり、顔料と糊を練り合わせたものが絵具です。油絵具、アクリル絵具、水彩絵具など、絵具はさまざまな種類がありますが、どの絵具にも基本的に同じ顔料が使われています。では、何が違うのでしょうか。

代表的な展色材

絵具の種類は糊の違いです。以下は代表的な糊の種類と特質です。
■乾性油 油絵具に使われている糊です。乾性油は植物の亜麻やケシの種子から搾られた油で、空气中にさらすと酸化して、体積はそのままに液体から固体に変わる性質を持っています。固化した糊が厚く顔料を包み込んだ画面は、乾くと顔料が露出する水溶性の絵具にはない透明感と深みを持っています。油絵具独特の透明感、乾性油と切っても切れない関係だといえます。

■アクリルエマルション アクリル絵具に使われている糊です。特質は、①乾くまでの間は水で自由に薄めて使用できるが一旦乾いてしまうと水に溶けない、②乾燥すると透明性の高いフィルムになる、③塗膜に耐水性があり容易に塗り重ねができる、④強い接着性を持つ——などです。発色のよさ、透明性、基底材を選ばない自由度の高さなど、アクリル絵具の魅力はアクリルエマルションによっています。しかし、アクリルエマルションは乾くと無色透明になります。乾く前は牛乳のような乳白色をしています。濡れ色と乾燥後の色に違いが出るのはそのためです。

■アラビアゴム 水彩絵具に使われている糊です。北アフリカに生育

するアカシア科の樹木から採った樹脂です。アラビアゴムは乾燥後、再び水に溶解するという性質を持っています。アクリルエマルションと大きく異なる点です。水彩絵具は基本的に顔料とアラビアゴムと水でできています。水分が蒸発し、後に残ったアラビアゴムが顔料を固着させるのが水彩絵具の定着の仕組みです。水彩絵具には透明と不透明(ガツシユ)があります。透明を不透明にする方法は2つあります。ひとつはホワイトを混合する方法、もうひとつはアラビアゴムに対する顔料の配合比率をあげることです。前者は絵画技法で用いられている技法ですが、ホワイトを混合すると彩度が低くなってしまいます。そのため、市販されている不透明水彩絵具は後者の方法がとられています。

ちなみに、透明水彩絵具の塗膜の厚さは油絵具やアクリル絵具と比べて極めて小さいため、下層の絵具の色や紙の白さが透けて見えやすい。透明水彩絵具の「透明」はそこに由来しています。

岩絵具でつくった油絵具

顔料はどの絵具も同じでしたが、日本画の顔料は油絵具など洋画用のものとは違う特徴があります。日本画の顔料である岩絵具は、他の絵具と比べて粒子径が大きいのです。糊に膠を使うのも日本画の特色です。明るい色調、ザラツとした画肌など、日本画特有の味わいは大きな粒子径と、糊として使われる膠によります。ところで、ホルベインの油絵具にアンティーク シリーズというのがあるのをご存知でしょうか。アンティーク レッド、同イエロー (No.1~2)、同グリーン、同ブルー (No.1~3) の7色。使われているのは日本画に用いられている岩絵具です。独特の味わいがあります。興味のある方は一度使ってみてください。

※参考文献:「絵具の科学」ホルベイン工業技術部編(中央公論美術出版)など



ホルベイン油絵具 アンティークシリーズ

ホルベイン絵具に関する
ご質問・ご相談は…

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.0729 (85) 1223
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



ホルベイン絵具